



クローン病に対するDBE診療を学ぶ — 自治医科大学附属病院 DBE専門研修プログラム —



炎症性腸疾患診療の未来を切り拓く

ダブルバルーン小腸内視鏡（DBE）は、クローン病診療において極めて重要な技術です。本プログラムでは、全国屈指のハイボリュームセンターである自治医科大学附属病院にて、DBE手技・狭窄に対するバルーン拡張術を実践的に学べます。

【対象者】

- 卒後3～10年目の医師（消化器内科・外科、小児科・小児外科）
- 上下部内視鏡100件以上の経験を有する方
※卒後10年目以降の方は要相談

【研修コース】（選択制・待遇は各コースにより別途相談）

- ・週1日研修（12～24ヶ月）
- ・短期研修（1～8週間）
- ・中長期研修（3～12ヶ月）

【評価体制】

- ・DBE施行後の自己評価＋指導医評価
- ・10症例ごとの総合評価＋症例検討会でフィードバック

【修了後の成果】

- ・難症例へのDBE対応スキル
- ・バルーン拡張術の実践力
- ・地域医療の質向上、学会発表・論文文化にもつながる内容

【募集要項】

- ・募集期間：2025年8月1日～2027年3月31日
- ・研修期間：2025年9月1日～2027年5月31日
- ・募集人数：各年5名（応募多数の場合は選考）

【研修場所】

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1
自治医科大学附属病院



【お問い合わせ・お申し込み】

DBE研修プログラム事務局
（自治医科大学附属病院 消化器センター内科部門）
メール：dbe@jichi.ac.jp